

(精神科専門) 訪問看護ステーション ラポールちかもり

所長 佐野 理香

活動状況

2025 年は、2 月より派遣職員が週 5 日勤務から週 4 日勤務に、11 月よりパート職員が正職員となり、週 4 日から週 5 日勤務となった。12 月には 1 名定年退職となったが、派遣として勤務継続となり昨年とかわらず常勤換算は 7 名であった。

利用登録者数は月平均 146 名・訪問件数は 403 名で、それぞれ昨年よりやや減少したもののほぼ横ばいとなった（グラフ 1）。訪問頻度は昨年と変わらず毎週訪問が半分程度である。

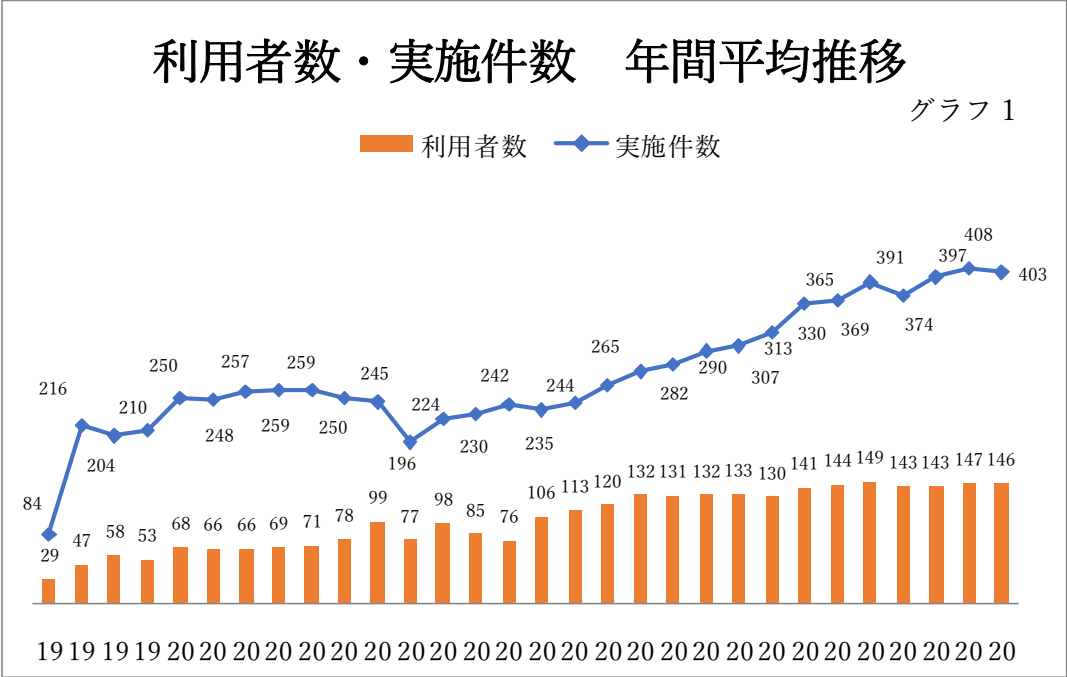
新規利用者は 28 名と昨年に比して 4 名少なく、終結や中止した利用者も 30 名と昨年より 4 名少なかった。終結等の理由の「必要を感じない」が半分を占め、次点は 2 割の施設入所や他のステーションへの変更などであった。カスタマーハラスメントによる終結は 1 名あった。

キャンセル件数は 398 件で、件数は昨年比△33 と減少した。内容は、事前連絡が 8 割、事後連絡は 2 割で昨年と同様であった。事前は、身体・精神不調と他の用事がある、が理由のほとんどを占めており、感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ）と診断されキャンセルとなったものは 1 割に満たない数となった。事後は、不在、身体・精神不調、他の用事がある、がほぼ同数となっている。

1～3 月、10～12 月に感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ）と診断されたことによるキャンセルが集中しているが、いずれも事前連絡のみであり、事後のキャンセルはなくなっている。感染症に対しての意識付けがされてきていると考えられる。

今年も、外部の看護師（あき総合病院精神科所属）4 名の見学実習を受け入れた。スタッフたちは日々の実践を言語化することでラポールちかもりの理念・価値観を再考する良い機会となっている。

2025 年 12 月には管理者が交代となった。ラポールちかもりが大切にしている価値観をこれまでのように守り続けながらも、時代に合った実践方法や働き方を検討・実践していきたい。



グラフ 1. 利用者数・実施件数 返還平均推移

学術発表・講演会等

なし